

新小山市市民病院ニュースレター

Shin-yama City Hospital News letter

Vol.51



目次 1 副院長挨拶

2 医療機器購入

3 職員紹介

4 年末年始の診療体制

5 連携協議会総会開催

6 お知らせ



この一年を振り返って

副院長・循環器内科部長 大谷 賢一

早いもので、紅葉は一段と深まり、枯葉が舞う季節となりました。そして、朝夕の冷え込みも日一日と厳しくなり、冬の気配を感じる今日この頃となりました。

わたしは毎年一月元旦に、いくつかの一年間の目標を掲げて、そのスタートを切るようにしていますが、もうその総括をする時期となったことに、月日の流れの速さを実感します。

幼いころは、一日はとても長く感じられ、一生は無限に続くものと思っていました。しかし、年齢とともに一日をととても短く感じるようになり、一年間もあっという間に過ぎていくことに、今更ながら驚きを禁じ得ないとともに、『有限である人生の時間の大切さ』をつくづくと身をもって感じた年となりました。

いま世界を見渡すと、いずこに安寧の地があるのでしょうか。紛争に政争、物価高に貧困、災害に感染症などなど、わたしには地球規模で近年でもまれにみる混乱の極みにあるように思われます。さて、日本国内に目を向けてみても、物価高に社会保障が追い付かず、わたし達の大切な病院も、淘汰という大きな時代の波を真正面から受けるような、ひっ迫した状態となっています。

ただひたすらに、地域の患者さんにとって、職員にとって、いい病院を作っていきたいと、身を粉にして働き続けた十数年でした。職員全員が『オンリーワンホスピタル』の精神のもと、一致団結し、全力で頑張った甲斐もあって、わたしが赴任した頃とは想像もつかないような素敵な病院になりました。

病院経営にとっては、今一段と大変な時期に入った訳ですが、来年は、『さあ、いよいよ』との意気も高く、職員一人一人がもう一度全員で心を合わせ、さらに素晴らしい病院を創っていける一年にしていきたいと思います。

わたしが常に心している大好きな言葉に、『難来たるを以て安楽と意得可なり』というのがあります。今年は公私ともに大変な一年ではありましたが、烈風をも追い風に変えゆく大きな気概で、これからの十年を わたし自身の再スタートのつもりで、心も新たに頑張っていく決意を表明することで、一年の総括とさせていただきます。これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



超音波内視鏡検査装置

を導入しました

今回導入した超音波内視鏡検査装置は一般的な内視鏡の機能に加え、内視鏡先端のプロープを用いて体内からの超音波検査を可能とする装置です。

そのため体外から行う通常の超音波検査より病変に近い位置から検査を行うことが可能となり、病変の詳細な位置が把握・特定できるため正確な診断穿刺が可能となります（EBUS-TBNA 等）。

当院ではこの度、超音波内視鏡検査装置を導入しました。

本機の導入により呼吸器領域においては、従来の透視下診断よりリスクが低減できる点や検査から診断・治療（手術・化学療法）までを当院にてワンストップで実施することが可能となりました。

また本機は消化器領域検査での活用も可能です。当院での消化器領域の検査実施により大学病院の待機患者解消の一助にもつながることから、同領域における検査体制の早期整備に努めてまいります。

今後とも医療技術の向上を図り、患者さんの立場に立った医療に努めてまいります。該当する患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介いただきますようお願い申し上げます。

＜呼吸器領域用＞



＜消化器領域用＞



画像提供：
オリンパスマーケティング株式会社

別館建設事業に着手します！②

令和 6 年 1 2 月に別館建設事業着手！①を発行させていただきました。

今回は事業の経過報告及び工事の予定をお知らせします。

令和 7 年 4 月、建物新築工事設計・施工業務の基本協定を締結し、基本設計を経て、現在は実施設計業務を遂行しております。令和 8 年 2 月中旬の工事着手を目標とし、病院を円滑運営しながら安全に遂行する為の工事計画を進めております。

日頃から皆様にご不便をおかけしている患者駐車場ですが、本事業で駐車場走行通路の一方通行化を図ります。大きな路面標示を施し、分かりやすく利便性の高い駐車場への変更を検討しています。

また、工事期間中（令和 8 年 2 月初旬～令和 8 年 1 2 月下旬予定）は患者第二駐車場が全て工事エリアとなります。患者第一駐車場が満車の際は、病院東側の公園駐車場等をご利用ください。

工事期間中は患者の皆様にご迷惑をおかけしますが、安全第一で進めてまいりますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。





-----職員紹介（10 月入職医師）（氏名、診療科、ひとこと）

おおた がく
太田 学

外科副部長

この度、令和 7 年 10 月から新小山市市民病院に、消化器外科医として赴任いたしました、太田 学（おおた がく）と申します。

これまで、消化器外科、一般外科、特に大腸肛門病を中心に、自治医科大学とその関連施設で働いて参りました。地域の先生方と連携を深めながら、地域の皆様に貢献できればと考えています。

患者さんが安心して医療を受けられるために、少しでも役立てるよう精進してまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



よしなり ひろき
吉成 裕紀

小児科副部長

令和 7 年 10 月から、新小山市市民病院小児科に赴任しました、吉成 裕紀（よしなり ひろき）と申します。

新潟大学卒業後、自治医科大学附属病院小児科に入局しました。現在は、小児血液疾患、小児がん、小児リウマチ・膠原病疾患を専門に診療にあたっています。派遣人事で市中病院に赴任するのが 6 年ぶりで、一般小児医療に携わることができることを楽しみにしております。

専門分野に限らず、幅広い疾患を診療できるよう、日々努めて参ります。県南地域の医療に貢献できるように頑張りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

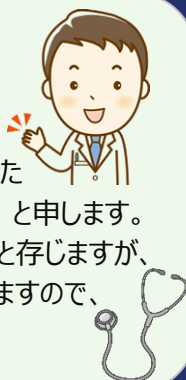


わたなべ ひかる
渡邊 輝

脳神経内科

自治医科大学神経内科より赴任いたしました、渡邊 輝（わたなべ ひかる）と申します。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、研鑽を積み、今まで以上に尽力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



まつざき さくらこ
松崎 桜子

糖尿病・代謝内科

令和 7 年 10 月より糖尿病・代謝内科に赴任しました松崎 桜子（まつざき さくらこ）と申します。自治医科大学附属病院内分泌代謝科に所属し、内分泌、糖尿病診療を行って参りました。これまで以上に研鑽を積み、貢献できるよう努力いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



病院機能評価「一般病院 2（3rdG:Ver.3.0）」更新認定について ～ 地域医療連携の取組が S 評価を獲得 ～

令和 7 年 5 月に公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価 一般病院 2（3rdG:Ver.3.0）」の更新審査を受審し、同年 10 月 2 日付で認定されました。

審査は「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践」「地域医療との連携」「理念達成に向けた組織運営」の 4 領域を対象に実施されましたが、その中でも特に下記の項目において、最高評価である S 評価をいただきました。

1.2.2 地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携している

この項目では、当院が地域の医療機関や医師会と緊密な連携体制を構築し、地域医療を支えるために継続的な取り組みを行っている点が高く評価されました。患者支援センター内に医療連携室を設置し、専任担当者による訪問活動や情報共有を通じて地域の医療ニーズの把握に努めているほか、紹介・逆紹介体制の整備や地域医療連携パス、CT・MRI の共同利用など、幅広い分野で医療機関との協働を進めています。

また、県外を含む 15 病院で構成される「小山市近郊地域医療連携協議会」では、当院が中心的な役割を担い、職種別部会を通じて活発な交流を続けています。これらの成果は、小山地区医師会をはじめとする地域の先生方のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今後も地域の急性期中核病院としての使命を果たすとともに、医師会との連携をさらに強化し、地域の皆様にとってより良い医療提供体制の構築に努めてまいります。



第12回新小山市市民病院ふれあい祭り開催報告

10月19日(日)、「第12回 新小山市市民病院ふれあい祭り」を開催し、約1,360名の市民の皆様が来場しました。本イベントは「医療のチカラ、地域のチカラ ～ともに歩む小山の未来～」をテーマに、医療と地域の絆を深めることを目的として開催しており、今年も多くの方々にご参加いただきました。

今回も小山地区医師会、小山歯科医師会、小山薬剤師会のご後援を賜り、当日はご来賓として各団体代表の先生方にもご出席いただきました。

講演では佐田尚宏病院長が「がん」についてわかりやすく解説し、感染看護認定看護師による感染予防啓発講演も行われました。また、ステージでは地域の団体による演奏やダンス、屋内では内視鏡体験・白衣体験・静脈探し体験・車いす体験・調剤体験など、子どもから大人まで楽しめる体験コーナーが盛況となり、病院と地域が一体となる賑わいを見せました。

ふれあい祭りは、地域の皆様に医療を身近に感じていただくとともに、病院職員と地域医療機関・行政・市民の皆様との交流を深める貴重な機会です。今後も地域の中核病院としての使命を果たし、医師会の先生方との連携を一層強化しながら、市民の健康と安心を支える医療を推進してまいります。



院内防災訓練



(災害対策本部実動訓練) を実施しました！

9月13日に、幹部職員を対象とした災害対策本部実動訓練を行いました。この訓練は、災害が発生した際に迅速かつ的確な指示・命令を下すため、首脳となる幹部職員が災害対策本部を設置・運営する訓練です。実際の大地震を想定し、本部員となる幹部職員、関係職員及びDMAT隊員が災害対策本部に集まり、佐田本部長・宮脇副本部長の采配に基づき、情報収集、現状分析、課題確認、意思決定、指示伝達などの一連の対応を実際に行うことで、本部体制の確認や課題の洗い出しを行いました。



この訓練においては、小山市医療救護本部との合同訓練を兼ね、小山市の保健医療活動と、当院の災害拠点病院としての活動が切れ目なく連携していけるよう、訓練を行いました。

新小山市市民病院は、このような訓練を通して災害拠点病院としての責任を自覚し、災害時における地域医療の砦となるべく、精進をしておりますので、地域の先生方におかれましては、益々ご期待のほどお願い申し上げます。



～ 年末年始の



診療体制のご案内 ～

年末年始の診療体制は、下記の通りです。

令和7年12月26日(金) 通常診療

令和7年12月27日(土)

～令和8年1月4日(日) 休診

令和8年1月5日(月) 通常診療

急患の方の対応について

休診期間中も急患の方の対応は可能ですが、以下の点に注意が必要です。

【重要】 救急外来を受診する際は、必ず事前に休日
夜間受付まで電話で、診療が可能かどうかを
確認してください。

休日夜間受付電話番号：

0285-36-0290



ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

----- 小山市近郊地域医療連携協議会 研修会 -----

『元警察官が伝える、防犯の知識と技能』
～ 自分と大切な人を守るために知っておくべきこと ～

今回は、講師に元警察官で有限会社佐野機工 防犯事業推進リーダー、一般社団法人日本刑事技術協会登録講師の山井 宏一先生をお招きし、「実際の犯罪現場の事例等を基に防犯に関する危機管理」と「日常生活において女性や子供を狙った犯罪から身を守るための知識」について講演いただきました。先生の講演で、安全だと思っても常に危険が隣り合わせであることを実感し、研修会以降、今まで以上に日常生活の中でのリスク（危険）回避を考え行動しています。

実技のサスマタの使い方の説明では、自分が思っていた使い方とは違い驚きました。今後、サスマタを使う機会がないことが一番良いのですが、医療現場においても患者、職員の安全確保は重要な課題であり、いざという時に実際に活かせる役立つ情報が満載でした。

今回の研修会のアンケート結果では多くの方から「大変参考になった」「想像以上に満足」との感想をいただきました。



- ◇ 日 時 9月9日（火）
午後6時00分～午後7時20分
- ◇ 場 所 新小山市市民病院 2F さくらホール
- ◇ 講 師 山井 宏一（やまい ひろかず）先生
有限会社佐野機工 防犯事業推進リーダー
一般社団法人日本刑事技術協会 登録講師
- ◇ 参加者 55名（会場、Zoom）
- ◇ 内 容
 1. 防犯講話：座学
 2. 暴行等から身を守るポイント：実技
 3. U字サスマタの正しい使用方法：実技
 4. 実戦訓練：実技



---- 小山市近郊地域医療連携協議会 総会 開催報告 ----

11月11日（火）午後6時30分～午後7時30分、当院さくらホールにて、小山市近郊地域医療連携協議会総会を行い、46名の方にご出席を賜りました。はじめに小山市近郊地域医療連携協議会長・佐田院長の挨拶、議事の他に新たに院長に就任された新上三川病院・関矢院長のご挨拶、会員病院の近況について石橋総合病院・三室院長、小山厚生病院・奥山先生、及び光南病院・金子院長よりご報告を頂きました。

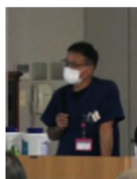
総会は、年に1回15病院会員が一堂に会し、情報共有の場として重要な役割を果たしておりますので、今後もより一層連携を深め、小山市近郊地域における医療提供体制の充実を図りたいと思います。



小山市近郊地域医療
連携協議会長
佐田院長



各部会報告



宮脇
医師部会長



西村
看護部会長



大嶋
連携部会長



石井
医療技術部会長



関
事務部会長

各部会から、活動内容、今後の予定、及び課題等の報告を行いました。部会は、各々の問題点や課題についての情報共有ができる場となっています。

会員病院の近況報告



石橋総合病院
三室院長



小山厚生病院
奥山先生



光南病院
金子院長

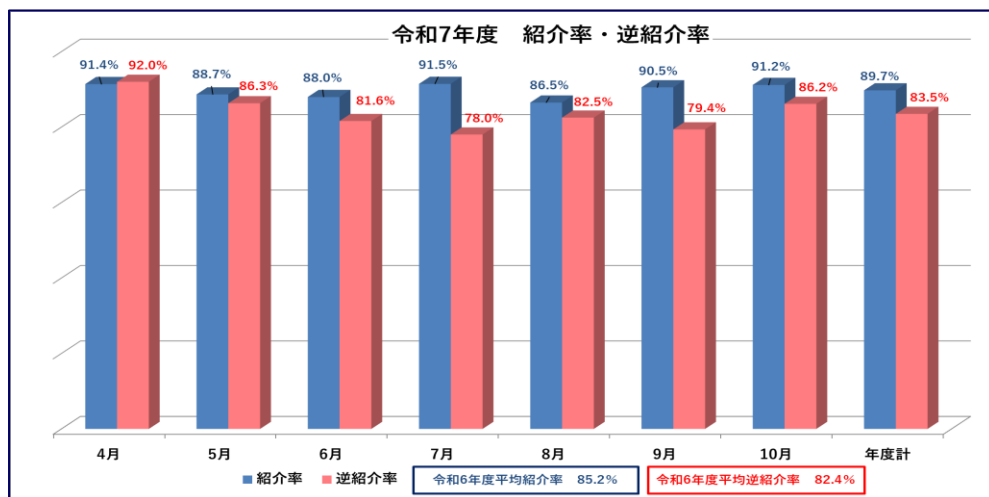
小山市近郊地域医療連携協議会は、小山市近隣の15病院で構成しています。

- ・石橋総合病院 ・小山厚生病院
- ・小山整形外科内科 ・光南病院
- ・小金井中央病院 ・城西病院
- ・新小山市市民病院 ・新上三川病院
- ・杉村病院 ・野木病院 ・星野病院
- ・南栃木病院 ・結城病院
- ・リハビリテーション翼の舎病院
- ・リハビリテーション花の舎病院



新たに院長に就任されまし
た新上三川病院 関矢院長
にご挨拶いただきました。

患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

令和7年4月～10は、前年度比で紹介患者数 **163人増**でした。

引き続きよろしく
お願いいたします。



地域完結型医療・連携の会 WEB ライブセミナー

地域完結型医療・連携の会にご参加いただきありがとうございます。

今年度から「地域完結型医療・連携の会の録画配信」を開始しました。配信視聴をご希望の方は、医療連携室へ電話（0285-36-0252）もしくはメール（メールアドレス renkei@hospital.oyama.tochigi.jp）へご連絡よろしくお願いいたします。次回、「第58回地域完結型医療・連携の会 WEB ライブセミナー」は、1/8に開催します。今後も皆様により満足いただけるセミナーになるよう努めてまいりますので、参加をお待ちしております。

・日時 9月17日(木) 19:15～

・座長 川上副院長

・症例報告者、症例

脳神経内科

西平医師

病型診断に苦慮した脳梗塞の一例

糖尿病・代謝内科

出口医師

インクレチン関連薬による肥満症治療

泌尿器科

熊丸医師

尿管ステントが長期間留置されていた症例

・参加者 60名(院外 32名、院内 28名)



・日時 11月13日(木) 19:15～

・座長 宮脇副院長

・症例報告者

脳神経外科

紺野医師

脳神経外科領域における症例 本当は怖いも膜下出血

心臓血管外科

久保医師

当院における下肢静脈瘤診療

眼科

高山医師

網膜血管炎を来したサルコイドーシスの一例

・参加者 55名(院外 27名、院内 28名)

	日 程	症例報告
第58回	令和8年 1月 8日 (木)	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第59回	令和8年 3月 12日 (木)	消化器内科・外科・小児科

ポットラックカンファレンス
偶数月（次回 2/3）

第1火曜日 19:15 オンライン(Zoom)にて開催しています。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市大字神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200（代表）

URL <https://tochigi.hospital-shinoyama.jp/>

職員採用サイト <https://recruit.soch.jp/#works>



患者支援センター（受付時間 平日 8:30～17:15）

FAX: 0285-36-0352

医療連携室: 0285-36-0252（緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関する事）

予約専用ダイヤル: 0285-36-0254

（予約紹介患者（泌尿器科・消化器内科・耳鼻咽喉科は除く）・もの忘れ外来の受診予約、上部内視鏡・超音波の検査予約）

※ 紹介患者さんからのご予約は、火・水・木曜日の 午後 2:00～4:30 に受け付けております。

医療相談室: 0285-36-0256

（医療相談・退院調整に関する事・MSW に連絡・その他、外来患者の各種相談に関する事）

メール: renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。

